Ｒ８　年度　学習の手引き（シラバス）

1	学年	教科・科目	農業・農業と環境	単位数	3	担当者	木下、小澤

1，教科書・副教材

農業と環境（実教出版）

2，科目の目標

・栽培のプロジェクト学習を通して作物の特性や育成と環境要素、栽培管理について理解するとともに、関連する技術を身につける。
・農業、自然環境、地域環境に関する課題を発見し、解決する力を養う。
・地域や農業について学び、主体的かつ共同的に取り組むこと。

3，学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲
前期	４月 ５月 ６月 ７月 ８月 ９月	学校農業クラブ プロジェクト学習の進め方 品質と安全（GAP）について トウモロコシの一生と主な性質 【栽培管理】　種まき　耕起、 施肥、整地、うねたて、 マルチング 土壌について 【生育調査】 【栽培管理】除草、除房 河川調査 人間と植物・動物とのかかわりについて 【収穫】品質判定、食味 赤かぶの栽培について 種まき　耕起、 施肥、整地、うねたて、 マルチング	学校農業クラブについてプロジェクトを見ながら理解する。 作業の手順、調査結果の記録の大切さを理解する。 トウモロコシの一生と主な性質について学び、まとめる。 種まき前に必要な畑の準備、種まきの方法、除房の目的や利点を理解する。 生育調査の目的を理解する。 人間と植物・動物とのかかわりについて理解するなかで、身近な河川の生物調査を行い水辺の生態系を理解する。 収穫の実施、品質判定の記入、食味 木曽の伝統食、形態、栽培品種の特徴	５３	・学校農業クラブ ・トウモロコシの一生と主な性質、栽培管理、土壌
後期	10 月 11 月 12 月 １月 ２月 ３月	長野県、木曽地域の農業について 赤かぶ栽培管理 すんきについて 赤かぶの収穫 すんき、赤かぶ漬け作り 危険物取扱者試験について プロジェクト学習の整理・分析・考察	長野県や木曽地域の農業の特徴、現状を理解する。 すんきの作り方を理解する。 危険物取扱について理解する。 実習の記録、観察記録の内容を表に転記し、グラフ化する。測定結果について情報を読み取る。読み取った結果を考察する。	５２	河川調査や赤かぶ栽培、すんき、長野県や木曽地域の農業についてレポート提出

4、評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	農業クラブ活動、作物の一生、性質、特性、栽培について理解し、栽培管理、調査を通じ結果を適切に記録し、道具の正しい扱いができる。	定期考査、ワークシート
思考・判断・表現	知識及び技術を活用して課題を解決するために必要な力を身につけている。	ワークシート、提出物
主体的に学習に取り組む態度	地域や農業について、班員と関わりながら問題解決しようとしているとともに、学んだことを生活に生かそうとしている。	レポート、授業態度、実習態度

5，学習にあたっての注意とアドバイス

・実習着の着用はきちんとする。
・調査記録はすべてを丁寧に記入すること。

Ｒ８　年度　学習の手引き（シラバス）

1	学年	教科・科目	農業・森林科学	単位数	3	担当者	押鐘

１、教科書・副教材

森林科学　実教出版

２、科目の目標

森林の育成・保全と利用に必要な知識を学習させ、森林生態系と林木の生育特性を理解させる。また、演習林実習を通じて林業に関わる技術を習得させるなどして、森林を総合的に利用する能力と態度を育てる。

３、学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲
前期	４月 ５月 ６月 ７月 ８月 ９月	森林とは 森林の多面的機能 森林管理の意義 演習林実習 森林の生態と分布	森林学習のガイダンス・森林の多面的機能・多面的機能の総合的発揮などについて学習する 持続的な森林管理・森林認証の制度・育林技術・育林の役割・育林の課題と新しい方向などについて学習する 生態系・気候と植生・日本の自然環境と植物群系の分布・植物群落の遷移などについて学習する	３５	森林の多面的機能 森林管理の意義 森林の生態と分布
後期	10 月 11 月 12 月 １月 ２月 ３月	演習林実習 林木の生育と環境 森林の役割 森林の生態 地域の森林資源	樹木・林材の生育特性・林木の生育に関わる環境因子などについて学習する 森林の役割についてまとめ学習をする 森林の生態についてまとめ学習をする 地域の森林資源についてまとめ学習をする	３５	林木の生育と環境 森林の役割・生態

４、評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	林業・森林・人工林・育林作業の基礎が理解できたか	定期考査、レポート
思考・判断・表現	森林の意義について考えることができたか	レポート、提出物
主体的に学習に取り組む態度	森林を学ぶ意欲を持てたか 森林管理・演習林実習など適切に習得できたか	レポート、授業態度

５、学習にあたっての注意とアドバイス

森林・林業に関する学ぶ意欲を喚起し、基礎的な知識と技術の習得を目指す。

Ｒ８　年度　学習の手引き（シラバス）

1	学年	教科・科目	農業・農業機械	単位数	2	担当者	伊藤（中原）・植原

1，教科書・副教材

農業機械（実教出版）

2，科目の目標

機械の基本的な構造や安全な取扱い方法を学ぶ。座学・実習を組み合わせた授業展開とし、厚みのある知識・技術を修得させる。
溶接機、クレーン、バックホウなど危険を伴う機械を取り扱う授業においては正しい服装・装備から始めるなど安全に留意する。
高校３年間で取得する機械関係の資格について学習する。

3，学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲
前期	４月 ５月 ６月 ７月 ８月 ９月	農業機械と安全 クレーン チェーンソー ガス溶接 エンジンの構造 エンジンの分解・組立アーク溶接	農作業による事故の内容とおもな原因を理解し、機械の取扱い方法と安全の関係を学習する。 クレーンの振れ止め、インチングをはじめ正しい操作方法を学ぶ。 チェーンソーの各部の名称や構造から安全な操作方法やメンテナンスまでを学ぶ。 ガス溶接装置の名称から操作方法を溶接・溶断作業を通して学ぶ。 際に機械を操作し知識・技術を修得する。 ４サイクル、２サイクル、ディーゼルエンジンなど機械に使用されているエンジンについて学習する。 ４サイクルエンジンの分解・組立実習を通し、各種工具の使用方法やエンジンの構造を理解する。アーク溶接装置の名称から操作方法をアーク溶接作業を通して学ぶ。	３５	農業機械と安全 クレーン チェーンソー ガス溶接 アーク溶接
後期	10 月 11 月 12 月 １月 ２月 ３月	車両系建設機械 各種機械の整備と保守	車両系建設機械の掘削、整地など実際に機械を操作し知識・技術を修得する。 工具や溶接機を用いての機械整備およびタイヤのパンク修理など、実践で役立つ能力を身に付ける。	３５	車両系建設機械 取組んだ内容

4，評価の方法・観点、評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	機械・器具の使用・操作に関する知識技能理解	定期考査　ワークシート
思考・判断・表現	知識及び技術を活用して課題を解決するために必要な力を身につけている。	ワークシート、提出物
主体的に学習に取り組む態度	問題解決しようとしているとともに、学んだことを生活に生かそうとしている。	レポート、授業態度

5，学習にあたっての注意とアドバイス

基本的な機械の構造や取扱い方法を学び、安全で事故のない機械操作、整備等を身に付けてほしい。